



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第 4 号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)
TEL (0142) 74-3015

今回は「洞爺湖有珠火山マイスター」(以下、「火山マイスター」)について、ご紹介します。

20~30年ごとに噴火を繰り返す有珠山。その被害を最小限に抑えるためには、噴火についての正しい知識とその伝承が欠かせません。そこで平成20年に胆振支庁(現胆振総合振興局)が主体となり、火山と共生するための人づくりの仕組みとして火山マイスター認定制度を立ち上げました。

火山マイスターは地域限定の称号で、現在21名が認定を受け、地域の防災力を高めるために、学校の登山学習や防災講演会の講師を務めるなど、防災教育の普及を行っています。また、現在のように噴火災害がない時は、質の高い火山ガイドとして、洞爺湖や有珠山を訪れる修学旅行生や、体験型ツアーへの対応もしています。火山マイスターが同行することによって、洞爺湖有珠山地域の自然について、理解を深めてもらうことができます。

火山マイスターは、洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について学び続け、正しい知識や噴火の経験、災害を軽減する知恵などを、次の世代や地域の内外に語り継ぐ「地域の防災リーダー」であると同時に、ジオパークの魅力を発信するという、重要な役割を果たしています。



○火山マイスターになるためには？

洞爺湖有珠山地域に住んでいる方が条件です。

火山マイスターになるためには、マイスター運営委員会指定の「洞爺湖や有珠山に関する学習会・講演会」(年10回程度開催)に参加し、「火山サポーター」に登録します。その上で、年1回の火山マイスター認定審査を受け、合格すると、火山マイスターとして認定されます。今年の認定審査は10月21日(日)に予定されています。

洞爺湖有珠山ジオパーク 見どころ紹介③

「フットパス 金比羅山(こんぴらやま)コース」

洞爺湖温泉のすぐそばにできた火口を巡る約2kmのコース。入口は、洞爺湖ビジターセンターの山側にあります。道路の横についている階段(もしくはスロープ)をあがると、町営公衆浴場だった「やすらぎの家」、その右手に5階建ての「桜ヶ丘団地」が見えます。展望台のようにになっているこの場所も、実は砂防ダム。噴火によって発生した熱泥流が、温泉街に流れ込まないようにするための施設です。砂防施設がこのような見学施設を兼ねているのは、全国的にも珍しい例です。散策路に入っていくと、2000年噴火の時に熱泥流が直撃した「やすらぎの家」「桜ヶ丘団地」、そして熱泥流に押し流された「木の実橋」が保存され、熱泥流のすさまじさを物語っています。

さらに足を延ばして丘を登ると、2000年にできた「有(ゆう)くん火口」と「珠(たま)ちゃん火口」も間近で見ることができます。

開場時間：4/20~9/30 7:00~18:00
10/1~11/10 7:00~17:00

入場料：無料

ただし安全確認のため、入口の監視員さんに声をかけて下さい。

